

## No.08

# 伐って食べて考える、竹の活用と地域づくり

## ぐるったネットワーク大町

全国各地で課題となっている竹林問題。人の生活の様々な場面で使われてきた竹について知り、竹の中でも細くて安全な淡竹(はちく)の竹林整備をすることで地域貢献をします。淡竹汁を食べたり、竹材を持ち帰りたりすることで、竹の活用について考えます。



実施可能時期	4月～11月
所要時間	2時間
対象	小学生・中学生・高校生
対応可能人員	20～40名

### ①プログラムの流れ

(30分～1時間)

はじめの会 == 竹林整備 ==

(30分)

筍汁の食体験 == 解散

※会場は受入人数と竹林の状況に応じてご案内します。

※ご希望によって、竹を使った芸術祭の参加作品を鑑賞したり  
エピソードを聞いたりすることもできます。(+1時間、+1000円)

## 北アルプス国際芸術祭における竹の活用と地域づくり

信濃大町を舞台に展開される北アルプス国際芸術祭では、竹を使った作品がいくつも作られてきました。地元の竹を使ってアーティストと共に作品を創り上げることが、地域の誇りにつながっています。



密集した竹を次々伐り出す作業は、ついで夢中になってしまい楽しさと達成感です。



みんなで協力して竹を伐り出します。協働作業で仲間の絆も深まります。



この地域の筍汁は、サバの水煮が入るのが特徴。

### Learning Point

## 探究学習のポイント

### 事前学習

#### 課題の明確化

- 日本(または自分の地域)の竹林分布を調べ、どれだけ資源があるか知る。
- 竹でできた製品は何があるか調べ、自分の生活と竹との関わりを考える。

### 現地学習

#### 答えを導く

- ノコギリで竹を伐り、林を整備することで、竹の生命力やしなやかさを体感する。
- 伝統食である筍汁を食べることで竹の恩恵を感じる。
- 希望に応じて竹細工のデモストレーションを見たり、作ったりすることで、活用の可能性を知る。

### 事後学習

#### 掘り下げる

- 竹の利活用を考える。
- 希望に応じて竹を一部持ち帰り、作品制作にチャレンジする。



# 竹林整備から考える、竹と私たちの暮らし

## 事前学習

課題の明確化

- ・日本(または自分の地域)の竹林分布を調べ、どれだけ資源があるか知る。
- ・竹でできた製品は何があるか調べ、自分の生活と竹との関わりを考える。

## 現地学習

答えを導く

- ・ノコギリで竹を伐り、林を整備することで、竹の生命力やしなやかさを体感する。
- ・伝統食である筍汁を食べることで竹の恩恵を感じる。
- ・希望に応じて竹細工のデモストレーションを見たり、作ったりすることで、活用の可能性を知る。

## 事後学習

掘り下げる

- ・竹の利活用を考える。
- ・希望に応じて竹を一部持ち帰り、作品制作にチャレンジする。